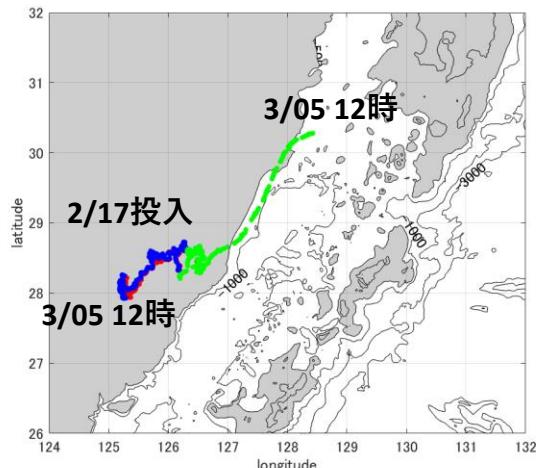


漂流ブイ観測速報(10)

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

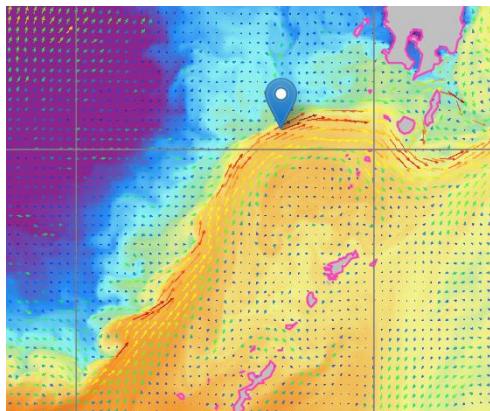
2023年3月5日



漂流経路図:

3個のペットボトル型ブイの漂流軌跡(3月5日12時現在).

注意:漂流ブイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月5日):

図中のマークは5日12時現在の緑色●の漂流ブイの位置を示す。矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表:ブイ投入から3/5 12時までのブイの位置情報. 時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月05日13時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/2/18 1:21	126.15	28.55
2023/2/19 2:52	126.28	28.72
2023/2/20 10:59	126.04	28.57
2023/2/21 4:04	125.90	28.53
2023/2/24 0:02	125.74	28.45
2023/2/26 1:25	125.45	28.09
2023/3/2 2:56	125.23	28.13
2023/3/3 2:37	125.25	28.05
2023/3/4 3:33	125.32	28.02
2023/3/5 3:23	125.36	27.95

鹿児島大学水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型ブイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。この追跡の漂流経路図(左図)とデータ表(下表)を、1~2日毎に更新・公表します。同時に、海況予報モデル(DREAMS_E)によるブイの36時間先の漂流予報も行い公開します(準備でき次第、流れ藻漂流予報速報(4)を掲載します)。

解説:現在、1個のブイ(緑色)が、黒潮縁辺の強流帯を東に移動中です。

今後、このブイは、黒潮北縁の水温前線付近(下図参照)を流れ、3月6日~7日に屋久島と口之島の間を通過すると予想されます(確度の高い予想)。他の情報(ボンデンに付けて流したブイ情報:図示せず)を合わせて総合的に判断すると、2月17日時点で奄美大島西方の大陸棚縁辺に存在した流れ藻集団(左上図参照:規模は不明)は、黒潮本流に取り込まれ易い状況に転じたと思われます。したがって、それらは、今後、黒潮北縁の水温前線に沿って、屋久島と口之島の間を通過することが予想されます(確度の低い予想)。引き続き、ブイの漂流位置を監視しつつ、情報を更新します。

ID:227201 (●)		
日本時間3月5日13時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/2/18 1:23	126.15	28.56
2023/2/19 2:53	126.28	28.73
2023/2/20 10:51	126.03	28.57
2023/2/21 4:04	125.91	28.56
2023/2/24 0:01	125.72	28.47
2023/2/26 1:25	125.44	28.13
2023/3/2 2:57	125.19	28.13
2023/3/3 3:29	125.21	28.05
2023/3/4 3:29	125.26	28.00
2023/3/5 3:16	125.26	27.93

ID:227202 (●)		
日本時間3月5日13時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/2/18 1:19	126.36	28.50
2023/2/19 2:47	126.53	28.66
2023/2/20 11:09	126.49	28.62
2023/2/21 4:07	126.36	28.61
2023/2/24 0:01	126.53	28.56
2023/2/26 1:28	126.46	28.37
2023/3/2 2:56	127.29	28.86
2023/3/3 2:38	127.68	29.50
2023/3/4 3:29	127.97	30.02
2023/3/5 3:16	128.43	30.28